



自衛隊栃木地方協力本部

モーターサイクルレースMotoGPで広報展！ ～F-2展示飛行で世界を魅了～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は10月1日（日）、栃木県のモビリティリゾートもてぎ（旧ツインリンクもてぎ）で開催されたモーターサイクルレースの最高峰「2023 FIM MotoGP」世界選手権シリーズ第14戦において、自衛隊広報展を出展した。また、主催者から戦闘機展示飛行の依頼があり、数か月前からその調整にあたった。

当日はレース前から多くの来場者が訪れ、広報展前にも長い列ができ、F-2戦闘機のタペストリー展示や、防衛記念章や航空自衛隊の階級章などの展示物を撮影する人の姿が見られ、特にF-4のスロットルと操縦桿の展示ではスロットルレバーや操縦桿を握り、「このスイッチは何ですか？」と夢中で操作していた。また、展示飛行の地上要員として支援をいただいたF-2戦闘機パイロットの2人（水野真和3空佐、川尻英文3空佐）が、広報ブースを訪れ、サインや記念撮影に応じたほか、展示品の操縦桿説明をするなど好評であった。

開会式において松島基地所属のF-2戦闘機2機が会場上空を飛行した場面では、来場者が空を見上げて撮影したり、戦闘機に手を振っていた。「すごくカッコ良かった」「開会式が盛り上がった」等の声が聞かれ、「どうやったらパイロットになれるんですか」と隊員に質問する小学生の姿もありレースの開催に際し、大いに盛り上がった。レースの様子は全国さらにはヨーロッパ、アジア圏に向けて放映されることもあり、世界にF-2戦闘機の魅力をアピールすることが出来た。



販わうブースの様子



記念撮影に応じる川尻3佐



憧れのパイロットと記念撮影
(右：川尻3佐 左：水野3佐)



サインに応じる川尻3佐



開会式に合わせてF-2が展示飛行